

レポートの書き方講習会 Step5

2018年7月5日
教育センター 桐山 聡
附属図書館 学術情報担当

1. レポートの種類別の「問い」と答えの導き方例

(1) 講義内容をA4用紙1枚でまとめるレポート

内容の一部に対して「本当か？」⇒ 個人的体験との整合性

(2) 講義で「わかったこと」をまとめるレポート

論理的な抜けや触れられなかったことへの疑問

⇒ 文献調査によって「わかった」

(3) 公知のことについて文献を探してまとめるレポート

文献調査から生じた疑問 ⇒ 類推, 可能性の提示

(4) 実験手順書に沿った実験に対する実験レポート

理論と実験結果の整合性・誤差 ⇒ 外乱要因の洗い出し

(5) 与えられたテーマについてフィールドワークや実験を計画・実施して自分の考えをまとめるレポート

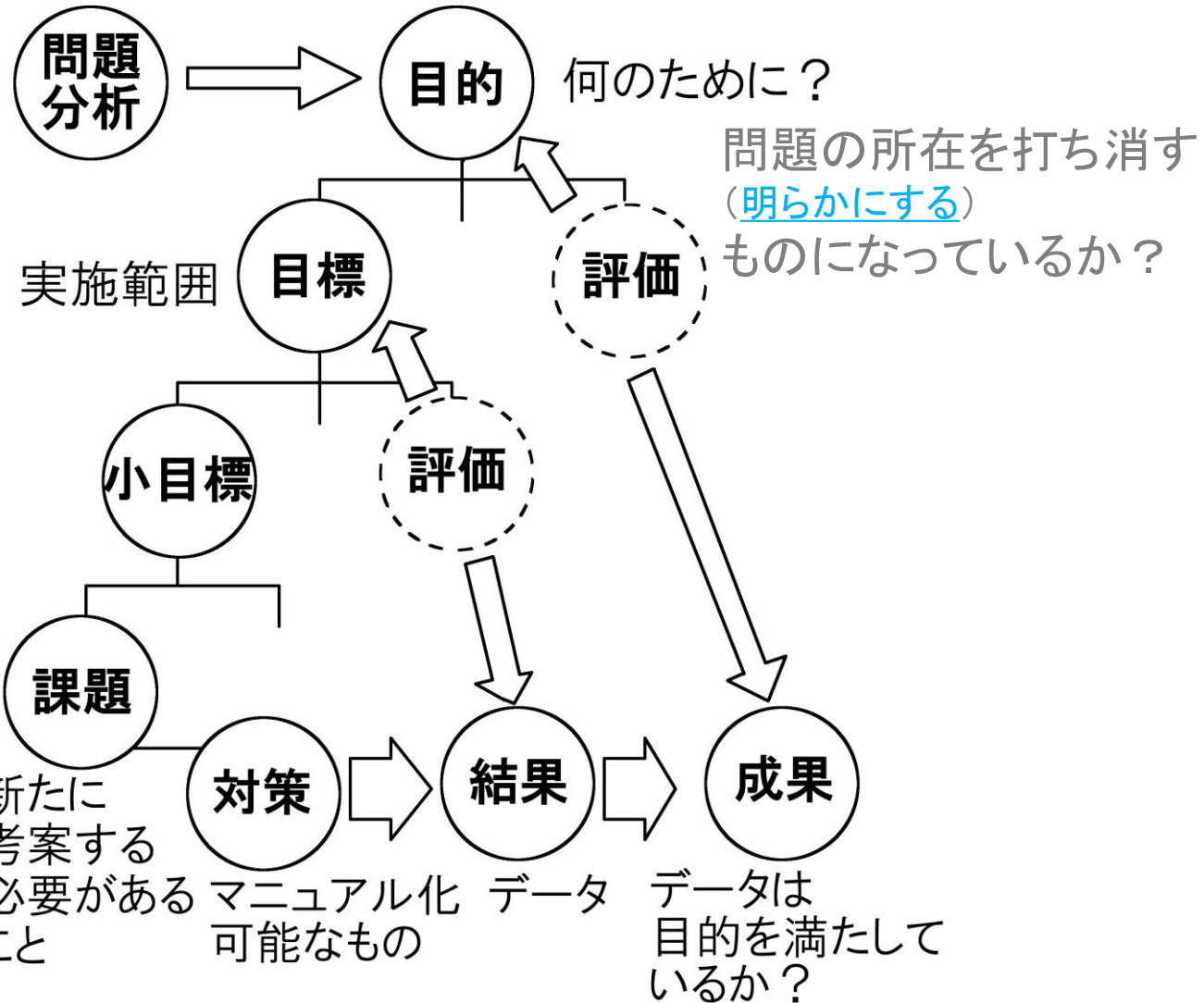
(6) 自ら問題提起してテーマを設定し、実験を計画・実施して自分の考えをまとめるレポート

既知の事実／まとめる間に
ワンクッション自分の思考過程
を組み込むことがポイント

本講習会で触れる範囲

2. 広義の「問い」の対象＝検証すべき対象

問題(困っていることの本質)
の所在(明らかでないこと)
は妥当か？



各階層の全ての項目
について、その設定
の妥当性が検証対象
となる
＝ 高次の「問い」

図1 研究・開発における計画立案の階層構造

3. レポートにおける「問い」と「仮説」

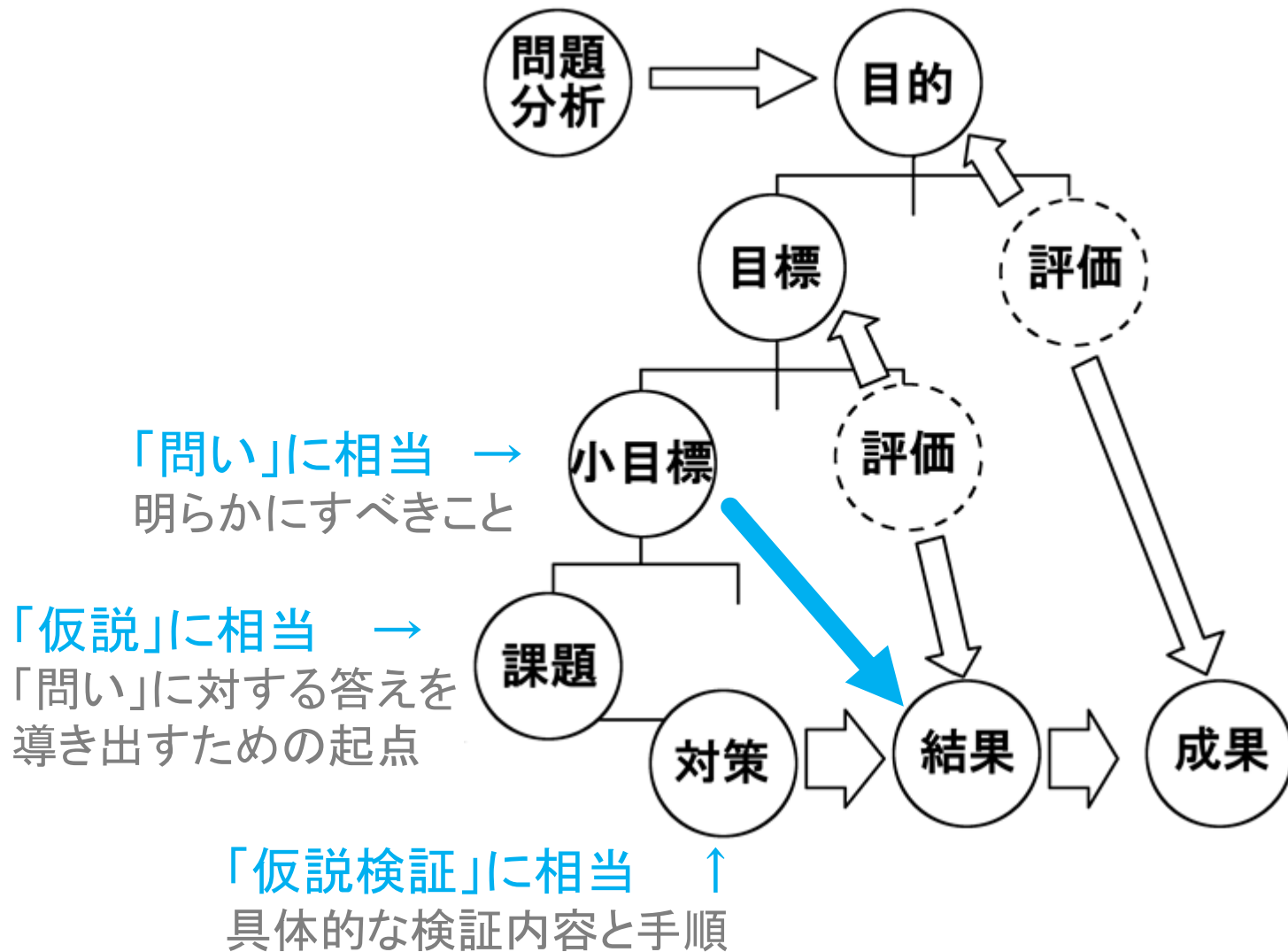


図2 「問い」および「仮説」と計画立案における階層構造との対応関係

4. 「問い」を設定する意義

レポートは「明らかでないことを明らかにする」思考の可視化
抽象的で曖昧な「問い」には曖昧な「答え」しか出てこない。

- (1) 曖昧なモノ・コトを明確に具体化(= 定義)する.
- (2) 具体化することによって, レポートで取り扱う範囲が狭まり,
深い検討が可能になる.
- (3) 具体的なモノ(≡事例)が一つ定まれば, 別の具体的なモノ
も見つけやすくなる. ⇒ 場合分け, 文字数が増える
- (4) 取り扱う範囲が決まれば, 改めて「問い」を明確にする助け
になる.

【ミニ演習】(5分間)

配布資料「(わたしの紙面批評)選挙・政策報道 若い有権者、
政治にいざなう工夫を」
を読んで気づいたことを述べてください。

5. 「問い」の立て方(パターン1)

さくらんぼ分割法(アイデア大全, p.192)の活用

キーワードをその属性に注目して, 2分割を繰り返すことによって
検討範囲を具体化する.

例)「鳥取における町おこしの課題」について

鳥取→鳥取市以外の自治体

→鳥取市→新市街

→旧市街→幹線道路沿い

→路地裏→フリーWi-Fi有

→フリーWi-Fi無

町おこし→自治体職員主体

→NPO法人主体→補助金事業

→自主財源事業→...

6. 「問い」の立て方(パターン2)

キプリング・メソッド（アイデア大全, p.109）の活用

与えられたテーマを①単語に**分解**, ②5W1Hを付け加えて**具体化**

例：与えられたテーマ「自動で乾燥・抗菌できる家電を考えよ」

自分で立てた問い「遅くまで図書館で勉強している学生が洗濯で困っていることは何か？」

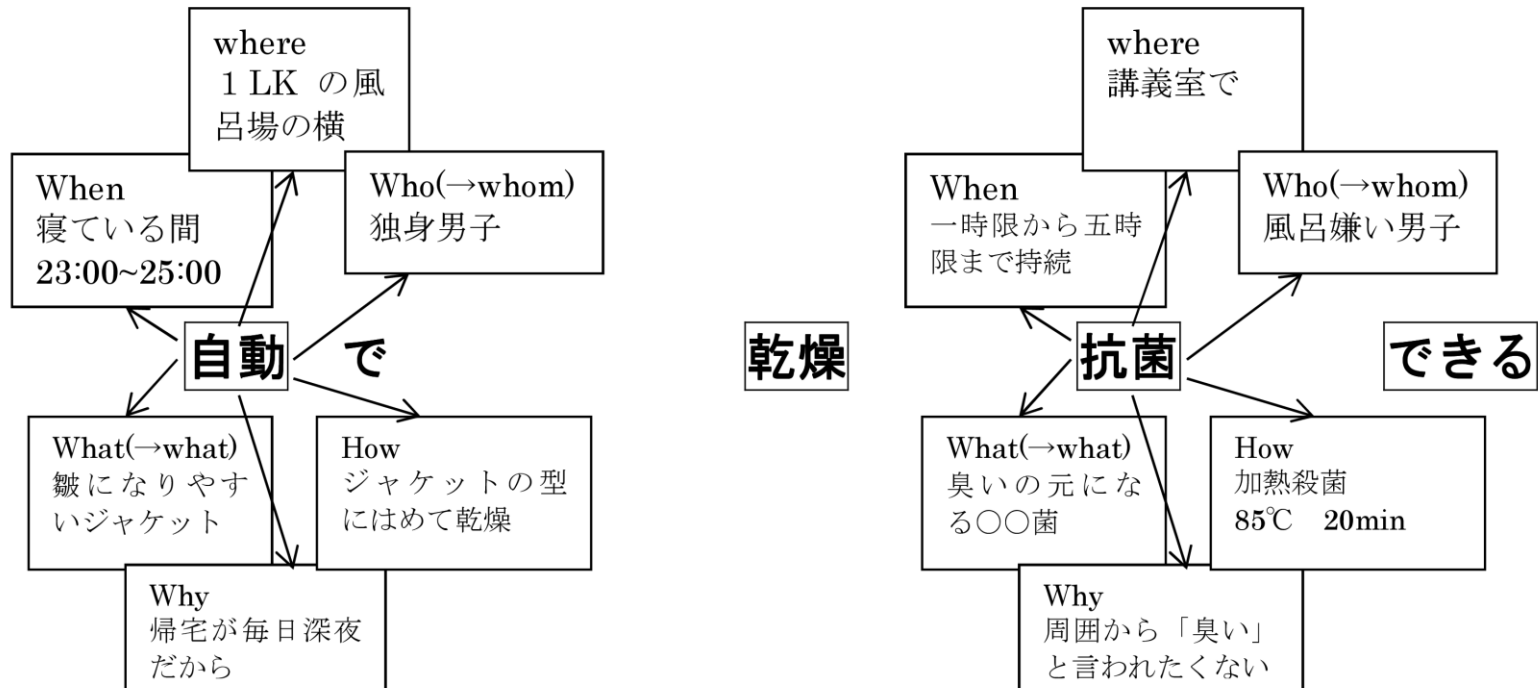
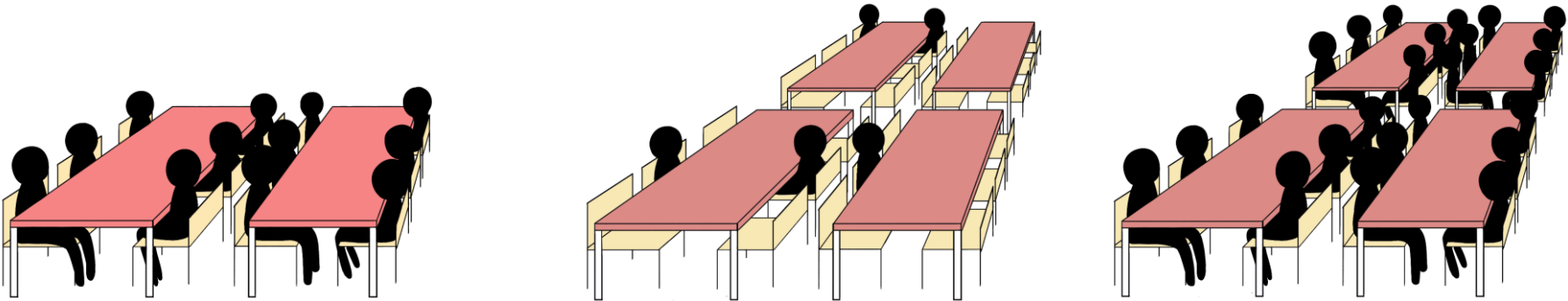


図 アイデアを要素に分割するやり方の例（ここでは**自動**と**抗菌**のみを例示）

7. 良くない「問い」の例

漠然とした疑問

実態を把握しないままの仮説

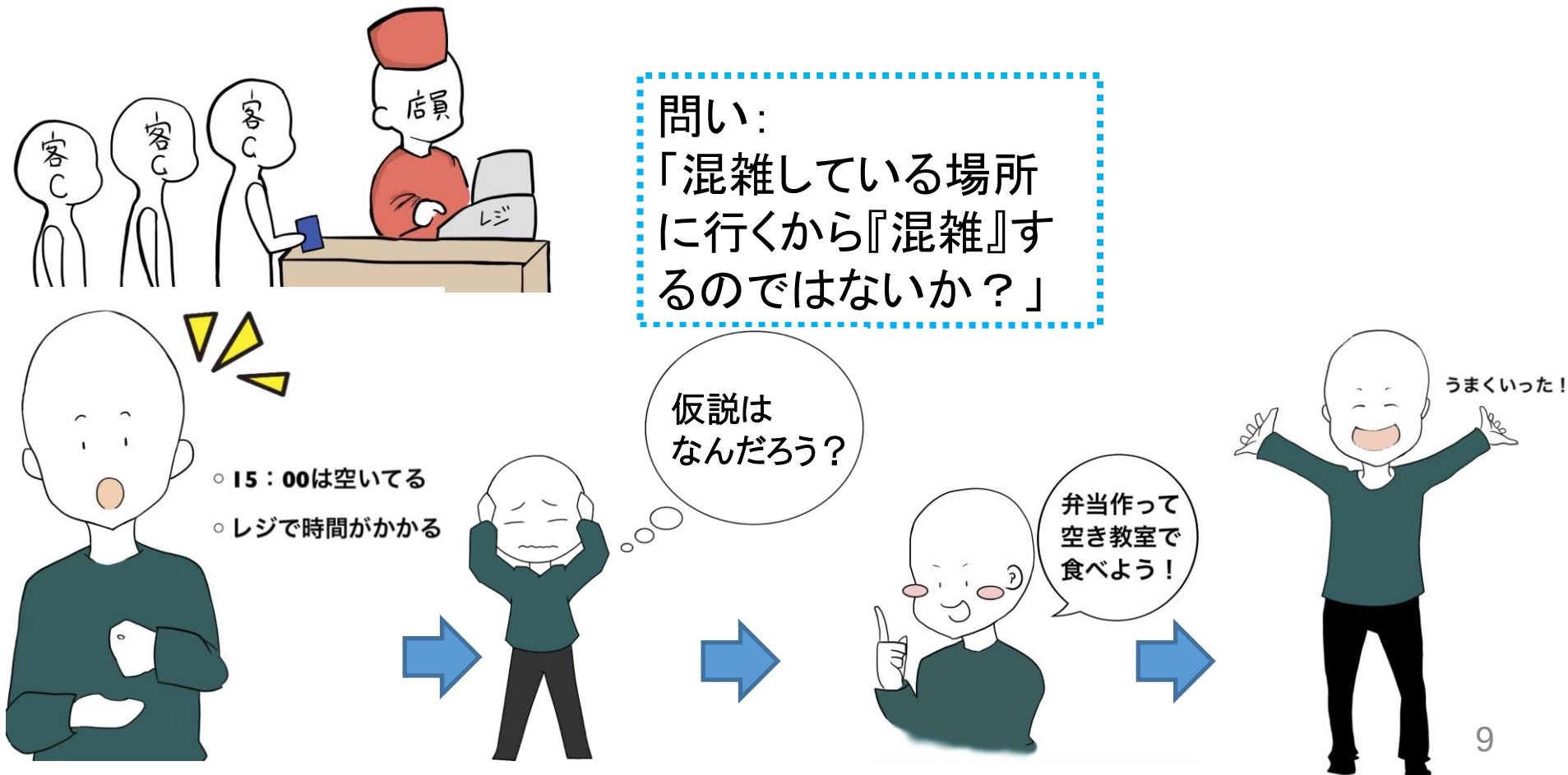


8. 「問い」の改善例

混雑の実態の把握(5W1H)：テーマとする「混雑」の定義
定義した「混雑」のメカニズムを踏まえた「問い」

仮説例：「〇〇講義室であれば昼休みに空いている」

検証例：いくつかの講義室で昼休みの人数推移を調査



9. 「問い」を立てる演習 (10分間)

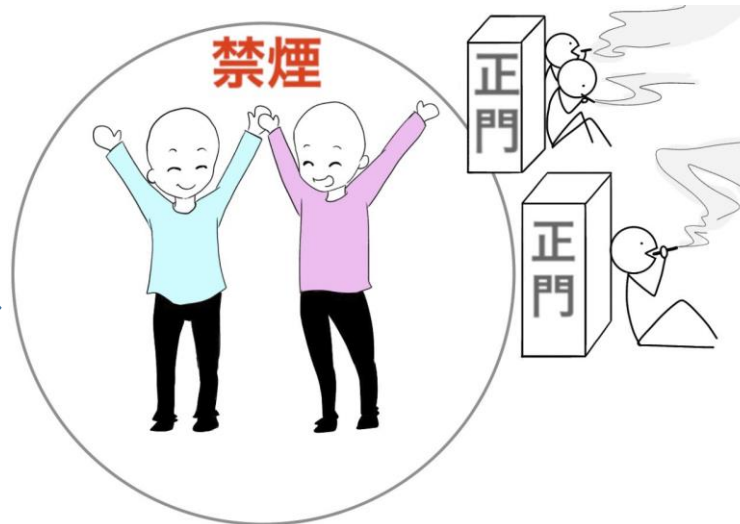
下の図の問題を分析して「問い」を立てる(5分間)

「問い」に基づいて検証可能な仮説を立てる(5分間)

口頭で発表してもらいます。



構内の喫煙による
健康被害の問題



構外の喫煙による
新たな問題



決マッタコトデスカラ

喫煙所ハ不要デスカラ



迷惑！

【参考・引用文献】

- (1) 村木厚子. (わたしの紙面批評) 選挙・政策報道 若い有権者、政治にいざなう工夫を. 朝日新聞記事データベース「オピニオン2」. 2017年11月18日
- (2) 読書猿. アイデア大全——創造力とブレイクスルーを生み出す42のツール. フォレスト出版. 2017

ご質問などあれば、下記までお気軽にお問い合わせください。

教育センター 桐山 聡

Mail: kiriyama@tottori-u.ac.jp

附属図書館 学術情報担当

Mail: ac-gakuju@adm.tottori-u.ac.jp

Tel: 0857-31-5673